

令和5年度大江まちづくり住民協議会事業計画

国において、新型コロナが感染症法上の2類から5類感染症とする方針が決定され社会活動も徐々にコロナ禍前の状況にもどりつつあります。ウィズコロナの取組みもあらたなステージに移ることになります。そうした中、令和5年度大江まちづくり住民協議会は、「大江まちづくり計画 ～未来につながる大江まちづくり構想～」を基本に、関係機関と連携を取りながら、「大江の元気づくり」に取り組むこととします。

主要な取組みは、会長・副会長会議で事前に協議を行い、毎月開催する常任委員会で承認を受けながら各部会で取組みができるように努力します。

また、4部長会も必要に応じ開催し、情報の共有と協力体制を確立します。

令和3年度から取り組んでいる「鬼タク」について、地域の方々の生活環境の維持を軸に、観光利用サービスにも一層努力します。「大江地域有償運送運営委員会」や「運転者会議」で運営の充実を図り、より利用しやすい運行等の諸課題の解決に努めます。また、市から貸与を受けたラッピングカーを活用し、大江駅を拠点に鬼伝説の大江山・元伊勢三社の丹後天橋立大江山国定公園と由良川水運の歴史のある大雲の里の観光振興を図ります。

当地域は過疎高齢化が進み、平成18年合併時に5,600人あった人口も令和4年1月末をもって4,000人を切り、65歳以上の高齢者の割合は約45パーセントとなっており人口の減少と高齢化が進んでいます。そうした状況の中、人口の流出対策や他の地域からの受け入れ態勢の充実が重要であり、昨年6月の「移住特区」の指定をはずみとし、定住人口や関係人口を増やす取組みを進めていきます。あわせて、Uターンプラザや定住促進住宅の入居者の定住を促すため関係機関と調整し「大江地域の住み良い環境」の宣伝も行います。

さらに、大江地域は過去に多くの水害に見舞われて甚大な被害を受けてきました。そうした教訓を生かし、「水害避難対策」「土砂災害対策」の意識の向上が必要であり、本年度も「防災出前講座」の取組みや関係機関と連携を強化し「安心・安全のまちづくり」を目指します。

活力ある地域づくりにむけて大江山鬼っ子マラソン大会の実施や「大江山酒呑童子祭り」など、恒例のイベントについても共同参画を図り、各種団体と連携して地域の活性化を図って行きたいと考えています。また、特産品の発掘、PRについて関係団体と連携をはかります。

大江地域を元気にするため、広報紙「大江を元気に」の発刊を行い地域のみなさんに情報提供を行います。また、住民協議会のホームページを活用して協議会が取り組む事業や地域の観光やイベントなどの情報を全国に向けて発信し集客を高めます。

また、好評である「ゴミ収集日付きカレンダー」について、本年も発行を予定していますので、協賛のご協力をお願いします。

1 大江まちづくり住民協議会の体制の強化

- 会長・副会長会議や常任委員会を開催し、重要事項等の検討を速やかに行います。
- 部会の連携会議を開き体制強化を図ります。
- 令和4年に承認された「実施計画」の具現化を図ります。
- 各部会は、必要な部会員を確保し、課題解決に向けた活動を進めます。
- ホームページや協議会ニュースなど情報発信の充実を図ります。
- 重点的に取り組みを必要とする場合は、必要に応じプロジェクト会議を設置します。

2 大江地域が元気になる事業の実施や支援

- 令和3年7月にスタートした「鬼タク」の安全運行と充実を図ります。
- 大江山酒吞童子祭り、その他の地域振興イベントを支援します。
- 地域内で活動する諸団体や実施される事業を支援します。
- 基本計画の趣旨により振興大会やシンポジウム等を実施します。
- 地域や活性化を支える方との交流の場を設け、情報提供をします。
- 由良川や堤防などを利用した事業に取り組み、水辺への意識を醸成します。
- 観光スポットの集客を高めるため清掃活動を支援します。

3 大江地域の諸課題を考え、課題解決のための必要な事業の実施

- 各部会でテーマを持ち、継続的な調査、研究、実践を行います。
- 先進事例を地域に活かすため視察研修を実施します。
- 大江学園や大江高校、福知山公立大学との交流を通じて地域づくりや元気づくりの発現を図ります。

4 福知山市や各団体等との事業参画と推進

- 協働事業は、その目的や内容により役割分担を明確にして取り組みます。
- 大江地域自治会長会や関係団体等の事務的な支援を行います。

5 部会の活動

(1) 農業・観光・経済活性化部会

- 大江山の自然と鬼伝説、元伊勢、由良川など、大江地域の魅力をアピールし、交流人口の拡大を図るため、市の事業との連携や地域資源の発掘を行います。
 - ・大江山酒呑童子祭りなど鬼文化継承事業への取組みに参画します。
 - ・ふるさと産品の見直しとPR強化を図ります。
 - ・旧美鈴小学校跡地を活用した「みすずフェスタ」や大雲記念館を活用した「大雲一畳市」などの取組みを支援します。
- 大江駅前の賑わいづくりの推進
 - ・令和3年度にリニューアルした大江駅2階のげん鬼ひろばの更なる利用促進を図ります。
 - ・大江町イルミネーション事業など、大江駅前を中心に行われるイベント、シンポジウムなどに協力支援します。

(2) 定住促進部会

- 大江町全域の「移住特区」の指定を受け、「空き家バンク事業」の活用を図ります。
- 移住・定住の促進に向け住み良い大江町をアピールする活動やUターン広場、定住促進住宅などをアピールします。
- 関係機関と連携して「空き家情報」の収集や発信を行い、大江地域の「居心地のよさ」を広く宣伝し、移住された方との意見交換会も行いたいと考えています。

(3) 教育・文化・スポーツ部会

- 新緑ウォーキング
 - ・ 町内の名所を散策しながらウォーキングを楽しむ事業に取り組みます。
- プログラミング教室
 - ・ 大江高校の協力を得て、小学生を対象に実施します。
- グラウンドゴルフ大会
 - ・ 感染状況により1グループの人数を減らして実施します。雨天の場合は代替種目とします。
- 堤防ウォーキング
 - ・ 由良川堤防を散策しながらウォーキングを楽しみます。
- ボッチャ体験教室
 - ・ パラリンピック種目を体験します。大会を行うことも検討します。
- 今後は、新たな事業を発掘しチャレンジして行きます。
(スマホ教室・堤防で凧あげ)

(4) 安心・安全促進部会

- 防災意識の向上
 - ・ 本年度も「防災出前講座」を開催し、防災意識の向上に努めます。
- 災害防災勉強会
 - ・ 市の危機管理室や消防署から講師を招いて、知りたい情報の収集を行います。
- 防災マップ作りと自治会まわり
 - ・ 防災マップ未作成自治会へ、防災マップ作成の取り組みを促します。
- 洪水、土砂災害避難研修会の開催を進めます。
- 先進地の視察
 - ・ 「毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト」への活動協力や交流を行います。